

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English F		
英文授業科目名	English F		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 知能機械工学科		
担当教官名	酒井 邦秀		
居室	東1-716		

公開E-Mail	授業関連Webページ
k-sakai@e-one.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>このコースはEnglish Eから継続する通年コースなので、English Eのシラバスをそのまま再掲します。*****やさしい英語の本をたくさん読みます。1年間で50万語読むことがとりあえずの目標です。とんでもない数字のように思えるでしょうが、1ページに単語が一つしかないような絵本から少しずつレベルを上げていけば、だれでも達成できる数字です。1年後には半分くらいの方が英語国の小学校中学年の子どもが読むペーパーバックを読めるようになること、また3分の1くらいの方が小学校高学年の子どもの読む本（たとえばハリー・ポッター、ダレン・シャンなど）を読めるようになるはずです。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
<p>ありません。学校英語や受験英語はむしろ邪魔になります。まっさらな頭ではじめましょう</p>

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
<p>ありません。</p>

<b>【教科書等】</b>
<p>教室で読む本も持って帰って読む本もこちらで用意します。ただし、「読書記録手帳」（500円）を生協で買ってください。</p>

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

授業中はひたすらやさしい英語の本を読んでもらいます。他の人の読書を邪魔しないかぎり、何をしてもかまいません。寝ていてもいいし、携帯でメールを送っていてもかまいません。家で読んでくることも希望者だけです

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(同じ「多読」の授業を開講するハウザーさんのシラバスから引用します。同じ方法で評価します。) 学生は本を借りて持って帰る事が出来ませんが、この授業には宿題がありません。小テストも試験もありません。成績は出席で決めます。1回も欠席や遅刻しない学生は、秀(A)をもらえます。1回しか欠席しない学生は、優(B)をもらえます。2-3回欠席する学生は、良(C)をもらえます。4回欠席する学生は、可(D)をもらえます。3回の遅刻は1回の欠席として扱います。(もし、遅刻や欠席の理由があったら、特別の扱いをする可能性があります、学生は私に知らせる責任があります。)

### 【オフィスアワー：授業相談】

随時。家に持って帰った本を読み終わって、酒井の研究室に本を取り替えに来たときに、随時読書相談を行います。これまでは毎日3, 4人が来ています。みなさんも気軽にドアをノックしてください。

### 【学生へのメッセージ】

英語はもう嫌いだ、特に英語の授業は受けたくないという人に受講してほしいと思います。英語とのつきあい方が変わります。

### 【その他】

1学期につき1000円を集めて、図書を買います。学期の終わりに好きな本を2冊持って帰ることができます。12月または1月にTOEICを受験してスコア・シートを提出してください。提出されない場合は成績がつかないので、注意してください。